

学生安全技術デザインコンペティション 参加チーム募集

(社)自動車技術会が主催する「学生安全技術デザインコンペティション」に参加する学生チームを募集いたします。

このデザインコンペティションは、大学生・大学院生のチームが考案した安全問題を解決する新しい斬新な技術のアイデアと、それを具体化したスケールモデルによって競われます。

■審査スケジュール

提案書と申請書の書面審査により、9月に上位3チームを選出します。この3チームには、提案した安全技術のスケールモデルの製作費の一部として10万円が与えられます。またこの他に自ら探し出したスポンサからの資金(注1)を活用してスケールモデルを制作し、2006年2月の最終審査においてスケールモデルを使ったプレゼンテーションを行い、最優秀チームを決定します。



注1:スポンサは必ずしも必要ではありません。また、プロトタイプ模型制作費は、賞金・スポンサからの資金等を含めて総額50万円以内とします。



2004年度ESV国際学生安全技術デザインコンペ日本大会優秀チーム「ルシオール」の紹介

大型トレーラの運転席にカメラを、後部扉のほぼ全面にディスプレイを装備。カメラの映像や後続車運転席からの映像も見せながらプレゼンテーション。前方車で遮られる交差点や障害物情報が前方車後部のディスプレイから得られるため、後続車の安全性が高める点を強調した。そのシステムコストの低減についても前方映像が必要ないときはディスプレイで広告を映して、広告料を得ることを提案した。

<応募要領>

・参加要件

理工系の高等専門学校生、大学生・大学院生が、5人以内のチームを組み、チームとして応募します。また、チームには教職員のアドバイザー1人がつくことが認められます。

・提出物

①応募用紙:チーム名、メンバ名等、および、提案概要
自動車技術会ホームページからダウンロード可。

②提案書:A4 4ページ以内。

次面の<提案する安全技術について>参照。

・提出期限 ①応募用紙 提出:2005年8月31日(必着)

②提案書 提出:2005年9月22日(必着)

・書面審査結果

2005年10月末までに、自動車技術会ホームページで発表します。また、上位3チームによる最終審査の詳細日程についても併せてお知らせいたします。



<提案する安全技術について>

- ① 独自性があり、斬新なアイデアであることが求められます。
- ② 衝突回避、拘束装置、救急医療、飲酒薬物運転防止、衝突コンパチビリティ、漫然注意散漫運転防止、ダミー設計計測法、歩行者保護の八つの重要な安全分類の内、少なくとも一つ以上に対して効果がある必要があります。
- ③ 上記②の安全分類の現状(データ)を用いて、安全技術を考え出した背景を説明する必要があります。
- ④ 提案する安全技術が採用された場合、どのようにして衝突の数や障害値を低減するのか、事故予防に役立つのかについて具体的に説明してください。
- ⑤ 提案する安全技術のコストや普及率等の予測が示されていて、「コスト」に対する「安全への効果」について言及されていることが重要です。
- ⑥ プロトタイプ模型としてどのようなものを製作するのか、製作費用はいくらかについて説明する必要があります。
- ⑦ 提案書は表紙を除いて、A4 6枚以内で、上記を記述して下さい。

(評価シート書面審査用) 次の評価シートを用いて、書面審査を行います。

Potential impact on safety problem being addressed 安全問題への取り組みや安全性に対する潜在効果	30 points
Originality and novelty of the idea アイデアの独創性、斬新性	25 points
Practicability of creating a working model プロトタイプ模型の可能性	25 points
Supporting detail (i.e. benefits/costs, quality, technical depth) その他(費用対効果、性能、技術の高さ)	20 points
合計	100 points

(評価シート最終審査用) 次の評価シートを用いて、最終審査を行います。

評価シート		評価項目	評点	満点		
Potential impact on safety problem being addressed 安全問題への取り組みや安全性に対する潜在効果		技術のポテンシャル	40 points			
	Did the team address a safety problem? チームは安全問題に取り組んだか?					
	How did the team test and evaluate their system? チームはどのようにそれらのシステムをテストし評価したか?					
	What metrics did they use? 使用した手法は何か?					
	What are the results of the testing? 試験の結果は何か?					
	Are conclusions clearly apparent? 結論は明快か?					
	What effects will the system have on traffic safety? システムは交通安全にどのような影響を持つか?					
	Is it practicable? 実用的か?(実現可能か??)					
Originality 独自性は?		独自性			20 points	
Working model, physical presentation 試作品、動作確認		模型の完成度			20 points	
Supporting details (cost, etc.), quality, thoroughness, technical depth その他(コスト等)、性能、完成度、技術の深さ		その他	20 points			
合計			100 points			

<スケジュール>

2005年7月8日13:30-16:10 安全技術講習会(応募を検討されている学生および教員のみ)
2005年8月31日 応募用紙 締め切り
2005年9月22日 提案書 締め切り
2005年10月中旬 書面審査、上位3チームの決定及び製作補助金の授与
(2005年11月~2005年2月末 プロトタイプ模型製作)
2006年2末 最終審査および最優秀チームの決定
2006年5月 本会春季大会で展示・デモなど、発表の場を検討しています。

<参加費>

1チーム 3000円、但しメンバーに本会学生会員が含まれる場合は無料。

※以上の内容は運営上の都合により変更する場合がありますので、常に本会ホームページ
(<http://www.jsae.or.jp/>)から最新情報をご確認いただくようお願いいたします。

<問い合わせ及び送付先>

〒102-0076 東京都千代田区五番町10-2

社団法人自動車技術会 技術者育成チーム 岩田・深見 03-3262-8211 iwata@jsae.or.jp

応募用紙

プロジェクト名			
競技カテゴリ (一つ以上に○)		衝突回避・拘束装置・救急医療・飲酒薬物運転防止・衝突コンパチビリティ 漫然注意散漫運転防止・ダミー設計計測法・歩行者保護	
チーム名			
チーム連絡先	住所	〒	
	電話番号		
参加メンバ	名前	所属(大学・学部・学科・学年等)	E-mail
チームリーダー			
チームメンバ (チームリーダーを含め 最大5名まで)			
教職員アドバイザー (いない または未定の場合は記入不要)			
スポンサ企業 (ない または未定の場合は記入不要)			
提案概要 (200字程度)			

※ご記入いただいた個人情報は、本コンペティションに関する連絡、およびお知らせのみに利用いたします。

競技カテゴリ(日:英)

衝突回避: crash avoidance

拘束装置: restraint system enhancement

救急医療: post crash injury treatment,

飲酒薬物運転防止: impaired driving countermeasures

衝突コンパチビリティ: crash compatibility improvement

漫然注意散漫運転防止: distraction mitigation

ダミー設計計測法: dummy design and instrumentation

歩行者保護: pedestrian injury mitigation